

2007年2月26日

日本地質学会 会長 木村 学

2006年度第9回理事会 議事録

期 日：2007年2月10日（土）12:00～17:30

場 所：地質学会事務所

出席者：木村会長，佃副会長，渡部常務理事（早退2時半）・天野副常務理事（2時半出席）・上砂・大友・公文・倉本・中山・久田・宮下・向山 各理事，橋辺（事務局）

欠席理事：伊藤副会長，Wallis・狩野・高橋・増田

* 成立員数(12/17)に対し，出席者12名，委任状4名，欠席者1名で，理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向山，大友）

総務委員会（委員長-上砂）

庶務関係（担当理事 上砂）

- ・GUPIより，GEOFORUM-3「地域観光資源とビジター産業」（2月3日11時から，東洋大学）の協賛依頼があった。依頼文書の不備等で多少異論もあったが，協賛を承諾した。
- ・田崎評議員より，ユネスコとIGCPの新しい方針「水」についてさまざまな「水」を研究している分野の方々に転送をとの依頼があり，環境地質部会へ検討依頼の連絡をした。
- ・水環境学会から年会（3月15日-17日，大阪産業大学）の案内があり，会員への情報提供としてHPおよびNewsに掲載した。
- ・UNESCO科学委員会委員の推薦について→ 公文理事から候補者→久田理事から推薦 次回理事会に提案の予定。

会員関係（担当理事 中山）

1) 入会の承認（ただし，入会年度は本人の希望により振り分ける。）

正会員(4名)：加藤千茶子 友澤 悟 Kim Ji Young 洪 景鵬

院生割引会員(1名)：芦萱 亮

準会員(3名)：宮田真也 半田直人 小久保晋一

2) 1月末現在会員数

賛助 34，名誉 74，正 4483（内，291 院割），学生 42，合計名 4,633（昨年比 -138）

3) 1月24日，運営財政部会を開催し，2007年以降の会員減少問題について，会員種別と会費制度，専門家以外の一般趣味人，青少年など底辺拡大のための支部活動の活発化，賛助会員の増加など，今後の対策等について意見を交わした。

会員離れ傾向の実情調査の一環として，今年度末で退会予定の会員（現在70名程度）にたいし，簡単なアンケートを実施した。

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

- ・学術会議地球惑星科学委員会地球惑星圏分科会では，地球惑星科学振興のための将来構想を検討しており，連合加盟の各学会に対して，将来構想，今後推進すべき課題に関する提案や声明についてのアンケートに対し，2002年の研究企画委員会報告ならびに2005年中期ビジョン委員会の提言を送付した。

会計関係（担当理事 向山）

- ・旧構造地質研究会から残余資金の移管があった（280万円）。引当金の新設。
- ・産総研との共同研究契約について：来年度も引き続き契約することとした。
- ・奈良県の崩落事故調査団に対し、調査費（主に交通費）を支出した。

広報委員会（担当理事 大友）

ニュース誌編集小委員会（担当理事 大友）

- ・ニュース誌写真の投稿規程（案）について

インターネット運営小委員会（委員長-坂口有人）

- ・日本地質学会ホームページへの投稿規定（案）について
- ・拡大インターネット・情報化合同委員会（1月13,14日）報告。
HPのリニューアルについて

2. 学術研究部会（部会長-久田，公文，増田）

行事委員会（久田委員長）

1) 札幌大会関連

- ・発表申込みおよび参加登録申込みシステムについて、オンライン化委員会に検討を依頼した。
- ・北海道マラソン（9/9開催）に関連し、参加準備を促進するため、一部の予告記事を前倒しでおこなう。発表申し込み等は除いて、早めに旅行プランが立てられるような予告記事を4月号に掲載する。
- ・見学旅行案内書冊子版の発行の可能性について
当初の取り決めどおり、発行はCD-ROM版のみとし、冊子版の希望者が出た場合には、会場内にパソコン、プリンターの設置をして要望に応えられる準備をすること、また、外注によって簡易冊子の作成手配ができるよう、準備委員会と相談のうえ、配慮することを検討する。

- 2) 秋田大会の日程等については、現在のところ確定の報告はない。鉱物科学会関係者との話し合いも未定。久田，大友両理事が東北支部会に折に出席して話し合いを予定する。

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

- ・日韓交流委員会委員の選出
2月22締め切りで委員の推薦を受ける。現在若干名あり。
- ・タイ地質学会会長（Mr. Araya Nakhant, チュラロンコン大学）からの招待状
08年の同上大学地質学科の50周年記念シンポジウムへの地質学会会長の出席など、タイ地質学会との連携を目指す。公文理事からタイ地質学会に返事をだす。

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田，宮下=企画担当）

- ・今月の編集状況は以下の通りです（2月9日現在）。
113-2：論説2・短報1・ノート1・口絵1（40p）校正中
113-3：口絵1。ほか未定。
- ・2007年度投稿論文総数7編 [論説3（和文3），総説1（和文1），短報3（和文3），] 口絵1（和文1）※うち6件が電子投稿
投稿数昨年比 -4 査読中45編
- ・紀伊半島特集号は全9件のうち5件が受理。残り4件査読中。
- ・電子投稿システムの本運用の状況：概ね順調に運用されている。利用した査読者からいくつか軽微な指摘があり、対応できるものから順にJ-STAGE側に依頼し改善した。

Island arc 編集委員会 (担当理事 Wallis, 事務局長 竹内圭史・角替敏昭)

- 1) 編集事務局に関連する産総研との共同研究契約について、19年度も継続して契約をすることを理事会に要望した。
- 2) 2) 編集状況
 - ・2007年間 576(～最大 620 p)
 - ・16巻1号 Pictorial 1編, 宮崎特集論文6編, 一般8編, 訂正1p, 計209p見込み。
18年度では計画540pに対し536p。
ページ数調整のため2編29pを2号に送った。
 - 2号 受理原稿は一般4編(約62)p. もう2編ほど見込む。入稿期限は3月下旬。
 - 3号 (5月受理の藤岡特集が入る予定)
 - ・特集 藤岡特集: 論文17編, うち8編受付済み。5月末時点の受理原稿で特集を編成し3号に掲載する。
 - 板谷特集: 論文13編, うち1編受付済み。
- 3) オンライン投稿
10ヶ月半で投稿43編(論文42口絵1)あり好調。1月に藤岡特集の投稿が始まった。
12編が査読/再査読結果著者戻し, 21編が査読/再査読中。受付中4編。
システムへの登録: 総数283名。著者138名+査読者74名+編集関係者67名(うちGuest Editor 3名)。AE・EAB 54名のうちオンライン編集経験済み30名
- 4) Online Early
16巻2号よりブラックウェル社WEBでの先行掲載を開始する。16巻1号から実施するよう交渉中。

Island arc 連絡調整委員会 (委員長 会田, 担当理事 Wallis)

- ・科研費対策について2月5日に、竹内・角皆両編集事務局長, 会田, 橋辺で話し合った。

4. 普及教育事業部会 (部会長-高橋, 倉本)

地学教育委員会 (委員長-阿部国広)

- ・連合に国際地学オリンピック対策委員会が設置され, 2月1日, 第1回の会合に阿部が参加した。なお, 同委員会の副委員長として, 地質学会からの委員推挙の要請があり, 地学教育委員会としては, 理事会の承認を得て久田理事を推挙したい。
 - * 理事会として, 久田理事の推挙を承認した。
- ・地球惑星科学連合「教育問題検討委員会」

5. その他

地質災害委員会 (担当理事 天野)

- ・1月30日に発生した奈良県上北山村, 国道169号線における岩石崩落事故に対し, 応用地質学会関西支部と合同調査団を設置し, 2月6日に現地調査を行った。
調査団長は, 千木良雅弘氏(応用地質学会関西支部長), 地質学会からは近畿支部の三田村宗樹氏(地質災害委員)と天野(地質災害委員長), 応用地質学会から藤田崇氏ほか3名が参加し, 土木学会からも3名の参加があり, 総勢9名の調査団となった。正式な調査報告は, おってまとめる予定。
- ・緊急災害時における報道関係からの質問等に対しては, 今後, 支部単位で窓口担当者(複数)を指名し, 対応に備えることとし, 支部長に依頼中である。

ジオパーク推進委員会 (担当理事, 佃委員長)

- ・委員会開催(1月15日)報告。

札幌大会，合同大会でシンポジウムを行う．委員会を他学会にも拡大することなどを検討している．

【以下，評議員会の下，の委員会】

法務委員会（担当理事：委員長 上砂）

- ・平成18年12月19日に理事会から依頼の「日本地質学会プライバシーポリシー」（案）を策定するため1月23日に法務委員会を開催した．各学会のプライバシーポリシーを参考に，個人情報の保護に関する法律に沿って，地質学会のプライバシーポリシーの原案を作成し，メール会議などを利用して別紙答申案を作成した．
- ・倫理規定策定委員会（委員長—松本 良）

オンライン化委員会（委員長 齊藤 眞）

- ・札幌大会の発表申込みおよび参加登録申込みシステムについて検討し，行事委員会に答申した．

選挙管理委員会（委員長 関 陽児）

- ・理事選挙の立候補者は7名で，定数どおりであったため全員を無投票当選とした．
- ・理事選出者を除く全国区の代議員から，得票順に階層別，支部などを考慮して40名の評議員を選出した．
- ・選挙結果報告は，News誌2月号およびHPに掲載．

6. 4 役会議審議内容

- ・08年度からの新任理事も決まったことで，次期の理事会構成について話し合った．
- ・札幌大会について，特に見学旅行案内書の冊子版について，札幌の担当者から出された要望について検討した．
- ・タイ地質学会との交流について
- ・地質学雑誌の出版形態の検討について
- ・HPのリニューアル関連

○審議事項

1. 科研費審査委員候補者の推薦について
 - ・理事のなかから推薦条件に合う10名程度の推薦を行うこととした．
2. 各賞選考委員会の下，の選考検討委員会委員選出の件
 - ・小畑正明会員および松本 良会員を理事会推薦委員とすることとした．
3. 発表申込みおよび参加登録申込みシステムについて
 - ・講演申し込み→J-STAGEを使用する．
 - ・参加登録・巡検・懇親会等→近畿ツーリストのシステムを使用する．なお，事前登録と当日支払いの間の料金設定について，運営財政部会で早急に検討することとした．
4. 地質学会プライバシーポリシー(案)について
 - ・個人情報保護に関連し，会員名簿の作成等などで必要とされる，地質学会プライバシーポリシーの作成について，理事会から法務委員会に依頼した．それを受けて，法務委員会で検討した結果が答申された．
 - ・法務委員会の案について意見交換をした．これを受けて法務委員会は，3月の理事会までに最終答申を提示する．
 - ・評議員会で最終答申を審議し，総会で承認を受けることとする．
5. ニュース誌写真の投稿規程（案），ホームページへの投稿規定（案）について
 - ・ニュース誌表紙写真の投稿規程が広報委員会より提示され，承認された．
 - ・ホームページへの投稿規程が広報委員会より提示され，承認された．
6. ホームページのリニューアルについて

- ・メルマガ発行を承認した（2週間に1回）。4月より実施することとした。配信先については、専門部会、代議員、支部を通して名簿を作成することとした。
- ・3月の理事会にウェブサイトの基本構造についてインターネット委員会より提案してもらい、具体的な検討することとした。

7. 地質学雑誌の発行改善について（宮下理事提案）

原稿不足により、自転車操業的な発行が改善されない状態が続いている。現在の論文投稿状況、若手研究者の研究環境からみて、今後改善するとは期待できない状況にある。

発行回数の維持、雑誌の性格、会員へのサービスなど、様々な問題点について意見交換した。評議員会等での十分な議論、会員への広報などが必要であり、理事会としても更に議論を深めることとし、継続審議とした。

8. その他

1) 次回(4月7日)評議員会議題

- ・日本地質学会プライバシーポリシー
- ・2006年度決算(案)および2007年度予算(案)
- ・ホームページのリニューアル
- ・地質学雑誌の出版について
- ・各賞選考結果について
- ・名誉会員候補者の推薦
- ・その他

以上

議事録署名人

㊟

㊟